

医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	根治切除された pStageIII 進行胃がんに対する術後補助療法の S1+Docetaxel 療法導入における当院の経験
所属科*	外科
研究責任者*	宮垣博道
研究実施期間	開始 西暦 2021年 1月 1日 ~ 終了 西暦 2021年 12月 31日
対象疾患(予定症例数)	23 症例
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 2017年 1月 1日 ~ 至 西暦 2021年 12月 31日
研究概要*	進行胃癌の術後補助療法は ACTS-GC 試験の結果に基づいて S1 単剤 1 年間の内服治療が標準治療とされていたが、JACCRO GC-07 試験の中間解析結果により、根治胃切除された pStage III 胃癌の術後補助療法において、S1 単剤療法に対して S1+Docetaxel 療法の優越性が示された。当科における S1+Docetaxel 療法の臨床における導入実態と有害事象について検討した。2017 年 8 月から 2020 年 12 月に根治胃切除術した pStageIII 胃癌患者 63 例の中の DS 療法を開始した 30 例について解析した。
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	症例は匿名化したうえで解析する。 後方視解析のため、個人情報は保護される。
研究の問い合わせ先*	大阪労災病院 外科 上部消化管外科部長 宮垣 博道

* 記入必須項目